

(本ブログ記載内容に一部誤り(自動車生産台数の発表時期、GDPの発表時期)がありましたので、10月2日より訂正したものを掲載しております。お詫びして訂正いたします。)

当ブログを今のような形で書き始めたのが今年の1月からですが、その後すぐに新型コロナウイルス感染症の拡大が始まり、どうしても塗料の需要動向や経済状況に関する情報提供をしたいという思いが強くなり、関係のありそうな調査や統計を紹介し始めて、今ではかなりの数の調査統計をご紹介するようになりました。

今日は、そうした調査や統計を一覧表にして、改めてその意味合いを確認してみたいと思います。これまで定期的に紹介してきた調査・統計の一覧表を示します。

当ブログで紹介している各種統計調査の一覧表

分類	調査名称	調査者	発表頻度	発表の時期	主な調査項目
塗料関係	業況観測アンケート	日本塗料工業会	毎月	調査対象月分は翌月中旬発表	当月の分野別金額見込、当月・翌月の金額・数量見込み
	生産動態統計調査(速報)	経済産業省	毎月	調査対象月分は翌月末日発表	全製造業の分野ごとの生産数量調査。塗料は水性と溶剤型の生産数量とその合計
	生産動態統計調査(確報)	経済産業省	毎月	調査対象月分は翌々月中旬発表	速報の詳細データ、各塗料種別の生産・販売・在庫数量と販売金額
製造業	製造工業生産予測調査	経済産業省	毎月	調査対象月分は前月中旬発表	製造業の先行き2か月の定量的な生産見込み、それに基づく製造工業生産予測指数
自動車	生産台数	各社	毎月	調査対象月分は翌月末発表	国内および世界における生産台数
	販売台数	日本自動車販売協会連合会等	毎月	調査対象月分は翌月初旬発表	国内の(車種別)販売台数
企業全般	法人企業景気予測調査	内閣府(財務省)	毎四半期(3,6,9,12月)	調査対象月(対象四半期の真ん中の月)の翌々月の上~中旬発表	自社および国内の景況、投資判断など経営者の感覚、予測
経済全般	日銀短観	日本銀行	毎四半期(1,4,7,10月)	調査対象月(調査対象四半期の最後の月)の翌月1日	企業の景況判断、経営状況、設備投資、販売価格、物価見通しなどに関する詳しい指標
	国民経済計算(GDP統計)	内閣府	毎四半期(1,4,7,10月)	調査対象四半期終了時点から1.5か月後	国内総生産、各需要項目、形態別国内家計最終消費支出など
	消費動向調査	内閣府	毎月	調査対象月分を同月末に発表	現時点における消費者の意識と1年後の物価見通し

上から順にどのような調査・統計なのか説明します。塗料関係が3件あります。一番上の業況観測アンケートは、最も早い塗料需要の概況情報で、例えば9月の概況は、9月の中旬に調査され、10月の半ばには発表されます。これは日塗工による調査結果であり、需要分野別の需要動向も含まれています。2番目と3番目は、経済産業省の各産業分野別の需要動向調査結果で、9月分の速報は10月末に、確報は10月半ばに発表されます。この統計は、全国の従業員4人以上の事業所の生産数量が調査の対象であり、調査から発表まで時間がかかるのは仕方ない面もあります。確報には、かなり細かい塗料種類別の生産・販売数量や、販売金額の数値が発表されています。

4番目は、製造工業生産予測調査です。これは実績調査ではなく、この先の生産計画の調査です。こうした先行きの数値を発表する調査は珍しく、その分不確定要素も少なくありませ

んが、先行指標を示してくれる貴重な調査結果です。

5番目、6番目は自動車の製造台数と販売台数で、9月分は10月末（製造）と10月初旬（販売）というように迅速に発表されます。自動車用塗料の需要動向はほぼこの生産台数と直結した関係にあります。

7番目は、企業の経営者の意識を調査するもので、先行きの動向を経営者たちがどのような考えているか参考になる資料です。四半期ごとにしか発表されませんが、経営者たちが考える半年先までの見通しが示されます。

8番目と9番目は、経済情報として有名な調査・統計で、よく知られていると思いますので説明は省略します。大がかりな調査結果であり、情報も豊富なのですが、日銀短観はともかく、GDPは時間がかかりすぎです。アメリカやEUは同時期の数字が、日本にくらべ約半月早く発表されています。

最後の消費動向調査は、消費者マインドについての調査で、先行きの指標も含まれています。

これらの調査・統計をあますところなくご紹介することはできませんので、できるだけ塗料と関係のあるところに限って説明していきたいと思っております。もし他にこんな情報が欲しいというご希望がありましたら、メール等でお知らせください。検討いたします。